



第十代岐阜県隊友会
会長
後 藤 忠 司

岐阜県隊友会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。また、御家族の皆様とも清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

一昨年の会長職拝命以来早いもので二年が過ぎようとしています。が、この間従来行事の実施のみで、皆さんに「入って良かった岐阜県隊友会」を感じて頂けていないのではないかと反省しております。一方、五年にも及んだコロナ禍も落ち着き、自衛隊行事も夏祭りを始め慰霊式、各基地創立記念式、航空祭等例年通り行われました。隊友会も同様にボランティア活動等例年通り行っており、本年も各行事について各支部長を通じて連絡します。で都合をつけて参加の程宜しく願います。現役時代の思い出を語り合うのもなかなか楽しいものです。



航空自衛隊
岐阜基地司令
空將補
山 本 光 伸

岐阜県隊友会の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、航空百衛隊岐阜基地に對しまして格別なるご厚情を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

隊員一人一人がやりがいを持ち職務に向き合い、幸せを感じるためには、関係者の方々をはじめとする皆様の理解と我々への共感が欠かせません。私どもも、皆様から愛される開かれた基地を目指し未来に向けて努力を重ねてまいりたいと思います。

結びに、岐阜県隊友会の益々のご発展と後藤会長をはじめとします会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



陸上自衛隊
第35普通科連隊長
1等陸佐
佐々木 久 史

岐阜県隊友会の皆様 新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、第35普通科連隊に
対し、格別なるご支援・ご協力を
賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、能登半島地震に伴う災害派遣、岐阜県における大雪に伴う災害派遣及び石川県能登半島における大雨に伴う災害派遣の3つの災害派遣に従事しました。県民の皆様のために引き続き即応態勢の維持につとめるとともに、昨年度参加した日米豪共同訓練をはじめとする各種練成訓練の成果を踏まえ、今年も引き続き防衛警備能力の向上を図っていく所存です。

一方、近年の少子化の影響もあり、毎年自衛隊への入隊人数が減少し

ていることから、部隊としては
 防衛省・自衛隊の魅力向上につと
 め、入隊した隊員に対し最大限の
 愛情をもつて接し、充実した教育
 訓練を行い、国民の皆様の負託に
 応え得る隊員を育成していく覚悟
 をもつて隊務に臨んでいきたいと
 考えております。

本年も、岐阜県隊友会並びに会員の皆様にとつて良い一年になることをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



自衛隊
岐阜地方協力本部長
1等空佐
寺西 竜哉

岐阜県隊友会の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は、自衛隊岐阜地方協力本部の様々な活動に当たり、皆様のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今、わが国では、人口減少社会が訪れ、社会における深刻な人手不足が生起しています。一方、国際社会は、戦後最大の試練のときを迎え、新たな危機の時代に突入したとされています。私たちは、わが国の防衛を確実なものにしていかなければなりません。防衛力の抜本的強化を着実に実現し、なかでも、「防衛力の人的基盤の強化」は、わが国防衛のための必須の要件です。わが国を守る優秀な人材を確保し続けるため、自衛隊岐阜地方協力本部は、志のある多くの方々の「自衛隊で働き、社会に貢献したい」、そうした意思を大切にし、実現していくための手厚いサポートを今年もしつかりと行っていくと思います。

結びに、岐阜県隊友会の皆様の益々のご発展とご多幸を心からお祈り申し上げるとともに、本年もこれまでと変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶いたします。



岐阜県自衛隊家族会
会 長
田 辺 敦 啓

明けましておめでとうございます。日頃は岐阜県自衛隊家族会の活動にご支援、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。私事で恐縮ですが、会長職も10年目の節目の年となりました。生まれは香川県善通寺市であり、縁もゆかりも無い日本一の暑さを競う多治見市に住んでおります。父親は警察予備隊1期であり、その時の苦労話はよく聞かされました。現在は多治見市柔道協会会長として学生を指導しています。黒帯を修得して警察官になりたいとの教え子に自衛隊の素晴らしさ、国を守る使命感を諭しながら進路相談を行い、感謝されています。しかし、現在の自衛隊は厳しい状況にあります。隊員に寄り添い、理解し応援するのが家族会、隊友会です。最近の筆舌に尽くしがたい恥ずべき問題が山積している。昨今、募集も完全にアウェイです。目標の半分以下と聞いています。変えてはならない事、それは私たちの自衛隊に対する応援であり、覚悟です。乗り越えられない試練はやつて来ません。今こそ全員で前進あるのみと強く強く確信しております。

防衛講演会

講演概要要約

テーマ「皇室は国防の要

グローバル帝国の侵略に対する

防衛史」

講師 安達悠司弁護士

我が国の防衛に関する歴史において皇室の存在に注目せざるを得ない。アジア諸国の中で、なぜ、我が国が白村江の戦い、元寇、戦国末期、幕末、先の大戦に至るまで、5度にわたるグローバル勢力による侵略の重大な危機を乗り越えて来られたかという点、「皇室を中心に国民を統合し、民心統一に成功した」ことで、国内が分裂することなく一致団結して外的と戦う事が出来、大東亜戦争では大敗戦したが終戦し国体を維持できた。と言えるのではないだろうか。

この話がなぜ重要かというと、現代の我が国にとって理想的な国防法制は何かをゼロベースで考えるには、建国以来126代・2000年以上にわたる皇統維持（国家存続）に成功している歴史から、成功法則を見出すことが重要だからと考える。

危機克服の際、自国の価値観を養っていないと精神的空白が生じ滅びてしまう。そのため、皇室を尊ぶことは勿論、我が国の歴史から、日本の強み、固有の在り方を学び、国民の精神的基盤を作り強固なものにすることが一層重要になってくるものと考えられる。

以上

○石原莞爾の言葉昭和20年8月28日毎日新聞「世界文化の達観と心よりの

対グローバル勢力防衛史その方法

	戦争、現出事項	相手国	時期	日本の大義
	実行者		対応策	
1	任那百濟復興 白村江の戦い	唐・新羅	562～663	任那百濟の復興、大化の改新、神祇を先にする
	天智天皇、天武天皇、菅原道真		白村江の戦い、遣唐使廃止、類聚国史の編纂	
2	元寇	モンゴル帝国等	1274～1281	敵国降伏、神風
	源頼朝～北条時宗		武士の統一、朝廷との和解、防衛力強化による撃退	
3	戦国末期の布教 植民地化企図	スペイン・ポルトガル等	1549～1637	天下布武、日本は神国なり
	織田信長・豊臣秀吉・徳川家康		伴天連追放令と大陸出兵、専王と国内武力統一	
4	江戸中期北方番 所被襲撃	イギリス・ロシア等	1806～1808～ 1868	北方居留民保護 東北諸藩北方警備配置
	幕末～日清日露 戦争		1894～95 1904～05	専王攘夷、王政復古 国防警備の緊要地確保
5	(林子平)橋本佐内・西郷隆盛・伊藤博文		専王・開国 近代化と富国強兵	
	大東亜戦争 (日華事変)	アメリカ等	1931～1945	東亜新秩序、八紘一宇 国体維持
	昭和天皇・近衛文麿・東条英機		東亜新秩序・大東亜会議・米英開戦、 国体維持	

懺悔

それにしても日本は今後物心両面に亘る恐るべき疾風怒濤の時代を迎えるのである。

米国は自己の善と信じる生活文化、様式、思想を滝の如く注いで日本をアメリカ化せんとすることは明らかである。それは教育に浸透し、生活を風靡するに至るであろう。それに英国式、ソ連式思想が加わってくる。日本の思想、醸風美俗、世間の人心は滔々たる大勢に押し流され、寸断されもみくちやにされる。

私は日本は思想的にどん底まで叩き落されるものと確信する。満州事変、支那事変においても日本国民は目覚めず、大東亜戦争に於ても未だ精神的に立ち上がらず、その敗戦の惨烈さに遭って初めて覚醒するかと思えば今だしの感である。要するにまだ足りないのだ。落ちて落ちてどん底に突き当たり、どうにもならぬ時に至って初めて民族の魂が究極の拠り所を呼び求めるのである。

一陣の清風、一個の炬火、それは真に魂が求める時にこそ与えられるべきものである。怒濤よ逆巻け、暴風よ吹け、それは全て日本人がそれを経験しなければ目覚め得ぬ「民族の禊」であることを私は確信する。

○祭祀と軍事の重要性
・伴天連追放令(秀吉に見る「日本は神国」「寺社の破却を許さず」)
・会沢正志斎、豊田天功「祭祀」「武力の重視」
・信仰の統一的形成、軍事力の強化

○編者注 編集者事務局局長
・グローバル帝国・武力等覇権をもつて我が国に影響を及ぼそうとする勢力、価値観の違いによる強制も含む
・皇室(天皇を中心として…縄文以来の信仰風習を受け水稻蚕糸器文化を広め、仏教儒教神道を踏まえた太子の憲法等皇祖以来の文化等が蓄積された存在としての捉え方であり「日本」そのものの存在と捉える



救急病院・労災指定病院・人間ドック

医療法人 社団 慈朋会

澤田病院

SAWADA HOSPITAL

理事長 澤田重樹

岐阜市野一色7丁目2番5号(東野一色バス停前) ☎058-247-3355(代) <http://www.sawada-hp.or.jp>

理事役会議開催

12月8日(日)長良川スポーツプラザにて理事役会議を開催した

会長以下22名の参加を得、委任者を含め定数を取得審議案件を整斉と審議していた。15時から防衛講演が安達弁護士を講師に迎え国防について新たな角度からの展開は聴衆に気付かせるものがあつた様である。(講演の要旨をコラムに掲載)聴衆には会議参加者の他に10名の特別会員が加わった。

佐藤正久参院議員の

防衛講演聴講

9月28日(土)ぎふ清流文化プラザで実施された他団体の大会における機会であつたが、演題は「ウクライナ情勢と我が国の安全保障」であり14時から15時半までの熱弁に本会から10名の会員が聴講参加した

ロシアの自身の理屈による他国領土の奪取、他国への工作員の事前潜入親派の形成これらはソ連時代からの伝統的手法である。一方我が国の現状を氏の体験を踏まえ戦後初めての我が軍事力の海外展開時に於ける正門出門騒ぎ、ペルー大使館人質問題など為政の官僚、立法の議員、司法の徒共通して国防に対する認識不足の紹介が在り国民に染み込んでいる

「自由・民主主義の履き違え」に拠るものと説かれた。国民に自主独立の気概が無ければ国防は成立しなく我が国の将来は無いとの事であつた。

天皇皇后両陛下下提灯奉迎

会場支援奉迎参加

10月14日(月)14時半から岐阜グラン



ドホテル前の長良川河川敷の奉迎会場整備を始め15時半頃から来場の一般参加者及び来賓等の案内に会長以下16名の会員が他の団体等約70名の有志と共にこれに当たった

両陛下のドホテル到着時刻が予定より約15分あととなり、会場の並び替えの時には周りは満員で来賓の移動にも困難さを感じた。提灯点灯のタイミングは19時40分頃となり参加者の提灯振りのなかやがてホテルベランダにお姿が現れ二つの提灯が見えた。

参加者の提灯が左右に振られると両陛下の提灯もこれにお答えになり左右に振られ上下に動くと上下に伝えられた19時50分頃万歳の連呼のなか奉迎の催しは無事終了した。



特に感じたのは子供連れの家族の参加者が多かったことであり後で聞いたところでは長良地区の3個小学校の児童に学校から案内があつたとの事であつた。また沿道奉迎について対象の自治体は羽島市、岐阜市、各務原市であつたが町内会の回覧板の案内の内容に差を感じた、私が岐阜市で見た回覧は何時頃何処何処通過など事務的な通り一遍のものだった各務原市の回覧では航空宇宙博物館お帰りは何時から何時頃このルート奉迎に適した場所はこちらここ辺りと親身に表現されていた。

提灯奉迎当日沿道で見られた岐阜市内で散見された奉迎であろう方々の数と翌日私が会の用務で国道21号を通つた時の新境川から基地までの沿道歩道にあふれんばかりの人々の差が印象的であつた。案内を作る人の心の持ち様の差を感じた。

かた ぎり ゆう せき

片桐 勇 碩 法律事務所

弁護士 片桐 勇 碩

自衛官・隊友の方の法律相談(民事・家事・商事・刑事その他)も承っています。

お気軽にご相談ください。

〒460-0002

名古屋市中区丸の内1丁目3番1号

ライオンズビル丸の内702号

TEL052-203-1143

FAX052-203-1130



精神科・心療内科
内科・神経内科

アルコール・ギャンブル・薬物・ネット等うつ病・統合失調症・認知症・発達障害幅広くご相談にのります。

医療法人 杏野会
各務原病院

理事長 天野宏一

各務原市東山1丁目60番地

TEL.058-389-2228

新入会員

入会おめでとうございます

語らい汗を流し笑いましよう

(敬称略)

岐阜支部

後藤 利明 9月24日10後支春日井

叙位叙勲

晴れの栄典をお慶び申し上げます

(敬称略)

R6. 11. 3

松尾 康壽 瑞宝双光章

陸 姫路業 一陸佐 岐阜

お悔み

心からお悔やみ申し上げます

(敬称略)

衣笠 弘 R6. 3. 16 享年92

10偵隊 岐阜

村井 義典 R6. 8. 9 享年89

10師司 中濃

松野 壽 R6. 8. 22 享年92

2補処 岐阜

友枝 龍一 R6. 9. 24 享年84

348施 岐阜

大山 慶隆 R6. 11. 2 享年81

4空群 恵那

行事の記録

9月14日 濃飛護国神社清掃奉仕

(西濃支)

9月23日 濃飛護国例大祭参列

佐藤正久議員講演拝聴

10月3日 情報交換会開催(岐阜基地)

10月5日 岐阜護国例大祭参列(岐阜)

10月5日 両陛下奉迎#3運営委員会

参加(岐阜)

10月14日 天皇后陛下下提灯奉迎

支援参加(岐阜)

10月16日 空自業務管理教育講演

説明激励(岐阜基地)

10月23日 岐阜県戦没者追悼式参列

(岐阜御手洗)

10月23日 岐阜基地司令感謝状贈呈式

参列(岐阜基地)

10月27日 #3長良川清掃参加(岐阜)

#3予備自衛官一日訓練

10月27日 説明激励(岐地本)

11月5日 飛騨護国例大祭参列(高山)

11月13日 防衛協会各務原支部豊川部

11月16日 前日飛行展示研修参加

研修案内

11月17日 岐阜基地航空祭2024

(岐阜基地)

11月19日 岐阜県総合防災訓練参加

支援・参加(岐阜)

11月23日 東海北陸ブロック会議

(県庁各支部)

11月24日 災害ボランティア活動実施

参加(名古屋)

11月30日 退公連4ブロック役員会

(輪島)

12月8日 理事役会議、防衛講演会

参加(岐阜)

12月13日 岐阜基地餅つき参加(岐阜)

懇親会開催(岐阜)

12月23日 両陛下奉迎役員会総会参加

参加(岐阜)

令和7年 1月17日 岐阜基地二十歳の集い参列

(岐阜)

1月21日 陸#3予備自招集訓練激励

(岐阜)

信頼と実績

全国どこの処方箋でも受け付けます

(有)寺島薬局

本店：岐阜市元住町8

058-262-5075

糸貫店：本巣市仏生寺13-3

058-323-7103



佐藤正久氏講演

相続が「争族」にならないよう、正しい税金の申告や相談は、経験と実績の豊富な当事務所にお任せ下さい。お役に立てる対策を以下の税理士全員で検討しご提案いたします。

税理士 佐久間秀謙	税理士 山田美佳子	税理士 後藤和重	税理士 森田弘司	税理士 安藤直子	税理士 宮脇治嘉	税理士 熊崎典和	税理士 後藤靖夫
--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

税理士法人

西濃会計事務所

〒503-0805

大垣市鶴見町283-1 地伸ビル 3F

0584-78-4353

<http://www.seinokaikei.or.jp>